

進路指導のたより

令和7年3月14日

第2号

栃木県立富屋特別支援学校鹿沼分校 進路指導係

進路だより第2号は、中学部の校内実習、職場見学、作業学習製品即売会の様子を紹介します。

◆中学部 施設職場見学◆

2月10日（月）に「鹿沼愛隣福祉センター」へ施設職場見学に行きました。

今回の職場見学では、仕出し弁当の製造及び販売、給食の調理、室内軽作業、園芸用土袋詰めなどの作業の様子を見学しました。実際に利用者の方が働いている様子を見たり、製品に触れたりすることで生徒にとって大変勉強になりました。今後、働くことを意識して、将来の進路に対してさらに興味・関心をもってほしいと思います。

生徒たちの感想

- ・調理しているお弁当を食べてみたいです。
- ・お弁当を作る姿を見て、かっこいいと思いました。
- ・土を袋に入れる仕事をやってみたいです。
- ・寒い中でも仕事をがんばっていて、すごいと思いました。
- ・言葉遣いと姿勢がかっこよかったです。ぼくもそうみたいです。

など、仕事に対する前向きな感想が多く出ました。



◆中学部 校内実習◆

1月20日（月）～1月31日（金）の2週間、第2回目の校内実習を実施しました。今回も、クリーン班と空き缶班で作業を行いました。日に日に慣れてきて、分担された作業を円滑に進められるようになりました。また、第1回目と比べて、準備や片付けの他、作業の技術も向上し、挨拶、返事、報告もしつかりできるようになりました。生徒たちは、普段よりも長い時間作業をすることで、より体力や持続力などの必要性も感じていました。

また、実習中に小学部の児童が見学に来ました。中学部の生徒が熱心に作業に取り組む姿は、中学部での学習意欲を高める良い手本となりました。

校内実習の様子



ク リ ー ン 班



一つ一つ確実に

心を込めて丁寧に

空 き 缶 班



【中学部作業製品即売会】



2月14日（金）に作業製品の即売会を行いました。普段、学習で使用している西中学校の2教室をそれぞれリサイクル班、手工芸班の販売所として設定し、自分たちが心を込めて仕上げた製品を販売しました。実際に代金をいただくことで製品を製作することの責任感を自覚し、「働く」ことの意味も少しずつ理解できるようになりました。今後の作業学習への意欲につなげていくとともに、この経験を今後の家庭生活や社会生活でも生かしてほしいです。

ご来店、ありがとうございました。

【特別支援学校高等部（知的障害）の通学圏について】

鹿沼市（旧鹿沼市）在住の特別支援学校（知的障害）高等部生徒の通学圏については、居住地の中学校の学区によって以下のように分かれています。

板荷中、北中、加蘇中、西中 → 今市特別支援学校

東中、北犬飼中、北押原中、南押原中、南摩中 → 栃木特別支援学校

◆御卒業おめでとうございます◆

本日3月14日（金）、小学部6年生5名、中学部3年生16名が鹿沼分校を卒業しました。

中学部3年生は、特別支援学校高等部の入学者選抜に全員合格し、それぞれの学校の高等部へ進学します。